

本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報

井上 たか子(名誉教授) 訳
(ジゼル・アリミ、アニック・コジャン 著)

『ゆるぎなき自由 女性弁護士ジゼル・アリミの生涯』

勤草書房 2021年11月 2400円



フランスを代表するフェミニスト、ジゼル・アリミの半生記。友人によるインタビューで綴られる彼女の人生から、フランスのフェミニズムの歩みが見えてきます。

大野 恵理(交流文化学科専任講師) 著

『「外国人嫁」の国際社会学 —「定住」概念を問い直す』

有信堂 2022年1月 4600円



自治体内に一定数外国人が散在している「外国人散在地域」。そこで「外国人嫁」として生きる女性たちの生き方、暮らし、社会的な位置づけから、非対称なジェンダー構造を探り出します。

野澤 聡(言語文化学科准教授) 分担執筆

『よくわかる現代科学技術史・STS』

ミネルヴァ書房 2022年2月 3000円



現代社会を支える科学技術のプロセスや成果をとらえなおすためのテキスト。第一部では戦後からの科学技術史、第二部では社会と科学技術の関わりについて論じます。総勢76名の研究者による明解な叙述・解説です。

林 永強(言語文化学科准教授) 分担執筆

『東アジアにおける哲学の生成と発展 間文化の視点から』

法政大学出版局 2022年2月 9000円



近代化に伴い、東アジアの哲学者が西洋哲学を受容、対決、そして自らの哲学を創造している。普遍性を追求し続けている一方、自文化という特殊性も無視できない。東アジアにおける哲学は、その思考実験に挑む。

大藤 紀子(国際関係学学科教授) 訳
(グンター・トイブナー 著)

『憲法のフラグメント —全体社会の立憲主義とグローバル化』

信山社 2022年2月 4200円



社会が国境の枠を超えて機能的に分化している現在、国家的な憲法とは異なる、分化された領域ごとの「憲法」を捉える、新たな法学的視点を提示する一冊です。

鈴木 隆(名誉教授) 編・著

『フィリペール・ド・ロルム 建築書 注解』

中央公論美術出版 2022年2月 35000円



16世紀、ルネサンス期のフランスで活躍した建築家フィリペール・ド・ロルムが著した、一体を成す先駆的な二冊の建築書の注解書です。読解を助ける注と解説により、その全容と意義を解き明かします。

須藤 廣(交流文化学科非常勤講師)、松本 健太郎(英語学科非常勤講師) 編著

須永 和博(交流文化学科教授)、鈴木 涼太郎(交流文化学科教授) 分担執筆

『よくわかる観光コミュニケーション論』

ミネルヴァ書房 2022年3月 2800円



デジタル技術によるコミュニケーションは、観光の姿をも大きく変えつつあります。本書では、「バーチャル観光」や「インスタ映え」など、新たな観光の在り方を模索・研究しています。

立田 ルミ(名誉教授) 編・著

堀江 郁美(経営学学科教授)、李 凱(経営学学科准教授) 著

『実践に役立つ情報処理 —基礎から応用まで— 2022年度版』

日経BP社 2022年3月 1900円



大学で扱う情報処理の授業に向けた教科書です。基本的なアプリケーションの使い方はもちろん、大学生に必須となる実践的な問題解決の方法も学ぶことができます。

堀江 郁美(経営学学科教授)、黄 海湘(経営学学科非常勤講師) 分担執筆

『Office!によるデータリテラシー —大学生のデータサイエンス—』

共立出版 2022年3月 2800円



社会人になるうえで必須となる基礎的なスキルを学ぶためのテキストです。多くの人が求められるOfficeアプリケーションの概要や活用法を、一から学べる入門書となっています。

北野 収(交流文化学科教授) 訳・解題
(アルトゥーロ・エスコバル 著)

『開発との遭遇 —第三世界の発明と解体』

新評論 2022年4月 6200円



南米コロンビアの経験を中心に、これまで世界中で行なわれた様々な「開発」について探る一冊です。先進国はかつての開発で何を問題視してきたのかを考察。それを通じて、現代の「持続可能な開発」の本質を見出します。

田中 善英(フランス語学学科教授) 著

『みんなの疑問に答える つぶやきのフランス語文法』

白水社 2022年4月 2600円



日本とフランスの発想の違いにも触れながら、初級・中級者の疑問に詳しくかつ分かりやすく解説する入門ハンドブック。魅力的な例文も満載で「読む文法書」としても必携です。

岡村 りら(ドイツ語学学科非常勤講師)、矢羽々 崇(ドイツ語学学科教授)、山本 淳(ドイツ語学学科教授)、渡部 重美(ドイツ語学学科教授)、アンゲリカ・ヴェルナー(名誉教授) 共著

『スタート!ドイツ語B1』

白水社 2022年5月 2600円



既刊のシリーズA1とA2に続く、中級者向けドイツ語入門書。基本的なドイツ語文法を学びながら、話す・書く・聞く・読む能力を鍛えられます。

浦部 浩之(言語文化学科教授) 共編著

『国境の時代』

大学教育出版 2022年5月 2300円

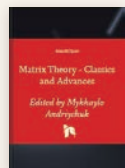


移民・難民問題、コロナ禍、戦争……現代の「国境」をめぐる様々な問題について論じた一冊です。世界と日本の国土について多角的に分析し、時間的変遷をたどりながら現在に至る背景を解説します。

安間 一雄(言語文化学科教授) 共著

『Matrix Theory —Classics and Advances』

2022年5月 無料ダウンロード



言語テストで頻繁に使われる並べ替え問題の部分採点の解法を三角行列に置き換えて示したもの。これまで満点0点としてしか処理されなかった採点法にメスを入れ、認知的到達度に応じた採点を可能にする合理的な方法を紹介している。



黒川 文字(経営学学科教授) 著

『最新自動車業界の動向としくみがよくわかる本[第4版]』

秀和システム 2022年5月 1400円



国内外の自動車業界についての動向を紹介する一冊。エコカーや環境技術開発など、これから自動車業界を目指す人にとって知っておくべき情報やトピックが網羅されています。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。